

姉妹都市提携25周年



のアジア人の女性が大半であった。どうやら、シリコンバレーの企業に働く駐在員を夫にもつ女性たちが、日常生活の英語を学ぶところであるらしい。企業戦士の奥さん方も米国に来た当初は英会話に苦労するようである。

このケネディ中学校の訪問のあとに、IT先端企業で世界をリードしているアップルコンピュータとヒューレット・パカード（HP）社を視察させてもらった。アップルでは、公共担当のマイケル・フォルクスさんと日系女性のリサ・ナカモトさんが出迎えてくれた。巨大なスクリーンとコンピュータを駆使して企業概要のプレゼンテーションを丁寧に行ってくれた。最後に、「世界であなた達が最初である」と言



アップルコンピュータ社の製品展示場にて団員全員で記念撮影

って、新製品のパソコンPower Mac G5を覆っていたシルクのベールを外してくれたが、これは世界同時発表の2カ月前のことであった。HP社では、営業課長のウォルト・ライカートさんと日本法人から出向して来ていた細谷泰弘さんが出迎えてくれた。このHP社は、“INVENT（創造、発明）”などのフレーズのCMなどで、今では日本国内でも馴染みである。生産現場を見ることは出来なかったが、次回には期待したいことであった。

市内では、化学肥料を使用しないオーガニック系の食品を主に扱っているホール・フーズというスーパーなども見学した。紅茶や果物、ソーセージなどさまざまな食品を試食させてもらった。オーガニック系の食品で健康に気づかうのは良いとしても、日本人から見ると砂糖の塊としかみえないケーキやお菓子が、店頭には山ほど陳列されていたのには閉口した。大抵、食後のデザートには、この「砂糖の塊」がお目見えするのである。

今回の訪問は、キ市姉妹都市委員会からの希望もあって、全5泊をホームステイで計画した。少しでもお互いを理解し、会話ができる時間を持ちたいとの願いからであった。キ市は、米国の中でも少しばかり富裕な階層に属する人々が多い。それ故、住居も私達のものよりはるかに大きいのである。彼らは、インテリアで、寛大で、温厚で、まるで日本人のように客人に対しては、親切で、気配りしてくれる。キ市の人口は、豊川市の半分ほどの人口である。サマーシーズンは、避暑で市外に出かけている人々も多いせい、町中では、あまり人影を見ず、むしろ、庭先の古木の前で多くのリスに出くわした。この町では、静かでゆったりとした美しい町並みによく似合うスローライフがピッタリだ。私は、滞在中毎朝6時前に起床し、1ブロックを40分ほどかけてゆっくりと散歩をした。歩道に沿って綺麗でこぢんまりとした佇まいをつぶさに見ていくと、町が醸し出す品位というか、ここに生活する人々の品位というものを見る思いがした。



有機栽培の野菜を中心に品揃えしているホールフーズ・マーケットを見学

さて、昭和53年に姉妹都市の提携を結んで以来、25年の歳月の間に中学生豆使節団や多くの市民の皆さんが両市を往来した。これは単に、二都市間の友好交流

だけでなく、日米両国の友好と相互理解という大きな役割の一端にも貢献を果たしていると信じている。今月13日には、今度はキ市民親善使節団が豊川市を訪れることになっている。また一つ両市の友好の証が刻まれることを楽しみにしている。

旅の楽しさ アレンジ!!

国内旅行は **赤い河船** 海外旅行は **WALK**

広小路1-38杉浦ビル

日本旅行 豊橋支店

運輸大臣登録一般旅行業第2号

ご旅行のご相談は、お電話でお気軽にどうぞ

(0532) **55-2710**
54-3261

営業時間 月～金曜 10:30～19:00
土曜日 10:30～16:00
定休日 日曜・祝祭日